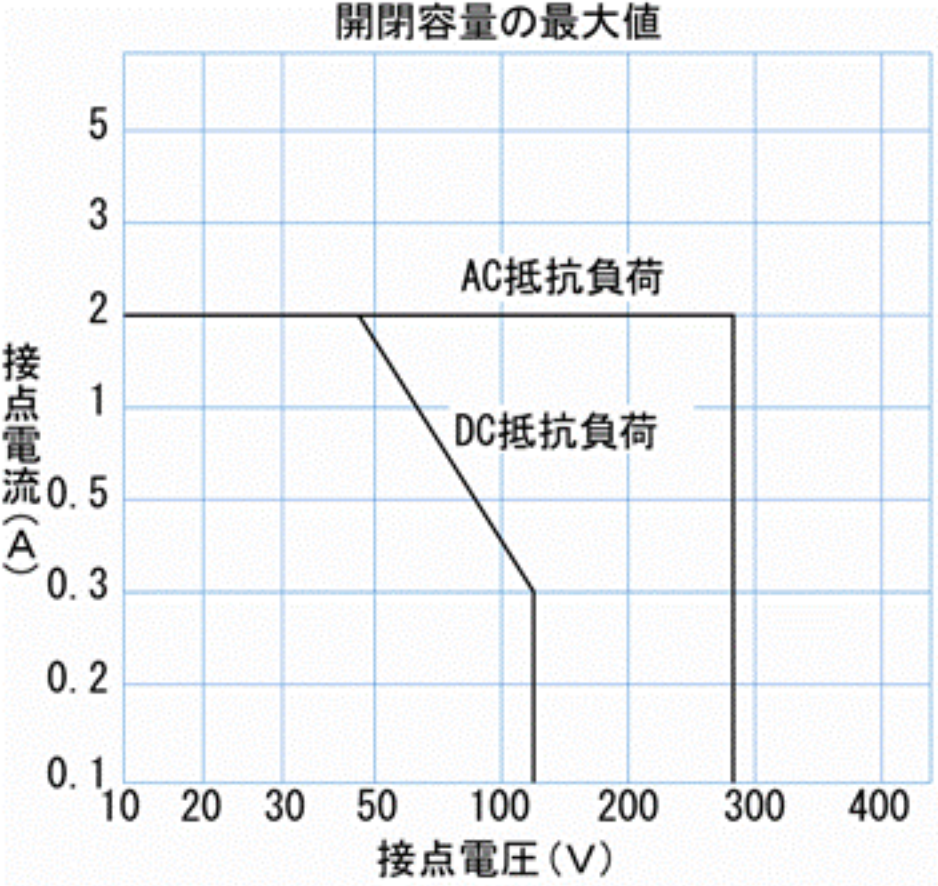

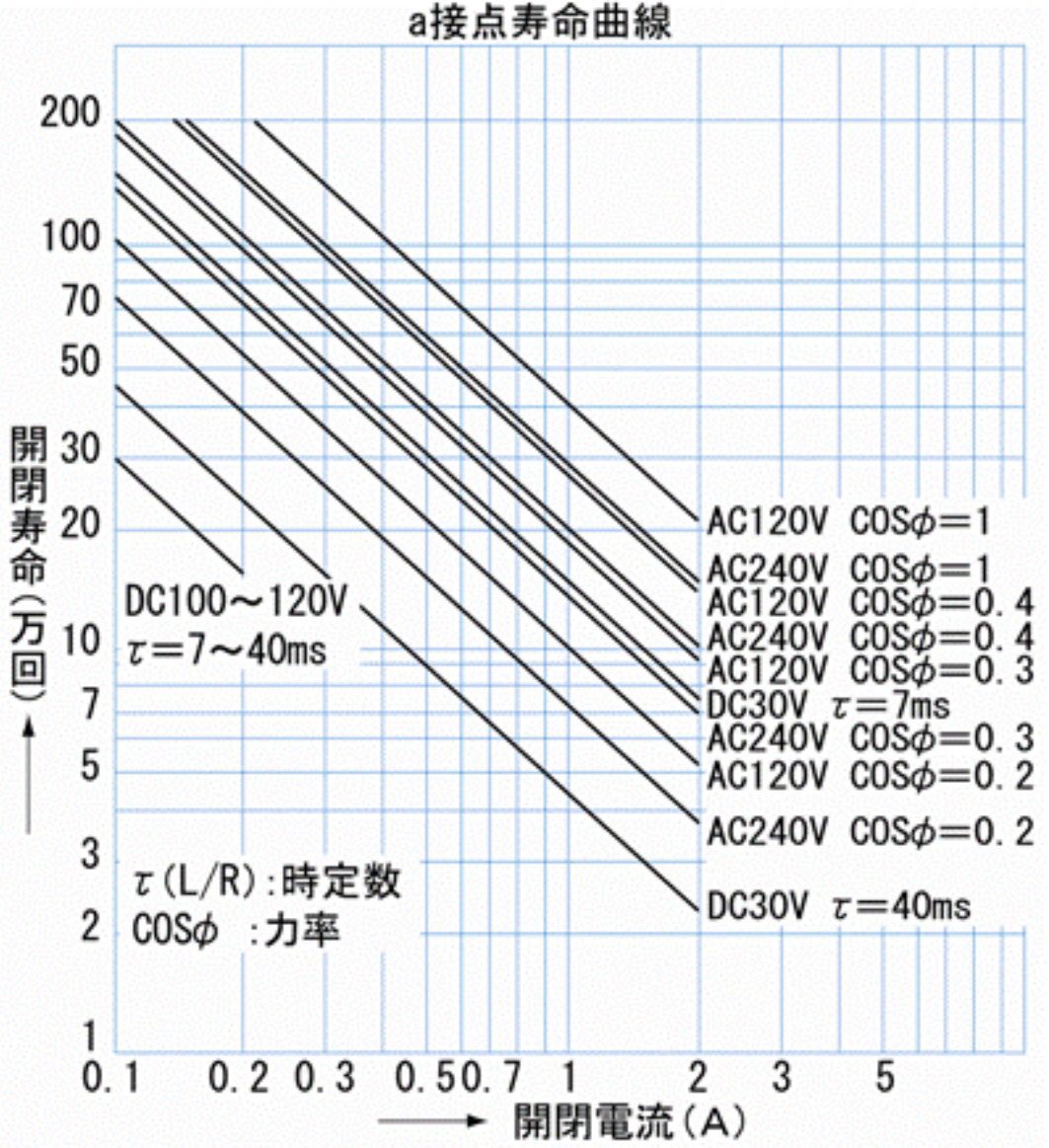

注1:開閉頻度の高い用途に使用する場合、リレーの寿命が問題となりますので、トライアック出力ターミナルの使用をご検討いただくことをお勧めします。

注2:リレー寿命曲線は、実力値で保証値ではありませんので、リレー寿命曲線に対して、十分なマージンを見てご検討ください。

注3:リレーの寿命は、負荷の種類と、その突入電流特性によって、大きく変わってきます。特に突入電流は接点溶着を起こす原因となりますので、定常電流とともに、突入電流についても考慮してください。

(a) 誘導性負荷

電磁開閉器、ソレノイドなどの誘導性負荷の遮断時には、接触間に高い逆起電力が発生してアーク放電が生じます。特に力率が小さい場合には、寿命が短くなりますので考慮が必要です。また、投入時においても、定常電流の5～15倍の突入電流が流れますので、接点溶着に対する考慮が必要です。

(b) ランプ負荷

ランプ回路の突入電流は、定常電流の10～15倍の突入電流が流れますので、接点溶着に対する考慮が必要です。

(c) 容量性負荷

負荷回路にコンデンサなどがあるときには、定常電流の20～40倍の突入電流が流れることがあり、接点溶着に対する考慮が必要です。長く配線を引き回した場合の電線容量にも注意が必要です。